

ビジネスアイデアの概要

手話で生活する聾者にとって、
筆談やメッセージだけでは音声会話に参加することが困難
日常で手話を音声にする手話翻訳システムが求められている

認知解析の技術（特願済）で
リアルタイムな**スマートウォッチ**だけの手話翻訳を実現する

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・一つのスマートウォッチで認識できる語彙範囲の拡大
→手先の動きや両腕で行う単語を認識できない
- ・ 日常利用に向けた精度向上及び語彙拡大
- ・ ToBパートナー（雇用促進），ToC顧客の開拓

事業化の見通し

- ・ 実験室実験でこれまでに片腕の計測では認識不可能とされてきた，**利き腕が同一動作をする単語の分類に成功した**（15単語65%，利き腕動作が異なる22単語90%）
- ・ マイコンを使った実験機から**スマートウォッチへ移行**しプロトタイプアプリを開発
- ・ プロトタイプアプリでテスターのデータを集めながら**会話に必要な要件を定義**し開発を進める

事業者情報

渡邊 理翔

大阪大学大学院情報科学研究科



ビジネスアイデア概要図等



**リアルタイムな
スマートウォッチ型手話翻訳を開発**